



会 議 録

八幡市教育委員会

開 催 日 時	平成29年8月31日(火曜日) 午前10時00分～午前10時45分		
場 所	分庁舎2階 会議室A		
出席委員名	谷 口 正 弘 (教育長)	橋 本 陽 生	
	松 下 順 英 (職務代理者)	佐 野 恵 理 子	
	布 目 有 希 子		
委員を除く 出席者の 職 氏 名	部 長	越 本 敏 生	教育総務課 岩 本 美 菜
	部 次 長	川 中 尚	教育総務課 大 崎 茂 夫
	部 次 長	西 川 茂 男	
	部 次 長	桂 智 美	
	社会教育課課長	西 島 昭 彦	

1. 議 題 (協議事項)

- (1) 平成30年度以降使用小学校「特別の教科 道徳」教科用図書に係る採択について



	内 容
[教育長] [西川次長]	<p>定刻となりましたので、8月の臨時教育委員会を開催します。</p> <p>はい、教育長。本日の臨時教育委員会に2名の方から傍聴の申し出がございますので、報告いたします。</p>
[教育長]	<p>只今、事務局より報告のありました2名の傍聴の申し出に対しまして、委員会の傍聴の取り扱いは、八幡市教育委員会傍聴規則第1条で教育長の許可を得たものは、傍聴する事ができると規定されておりますが、委員の皆さんより何か、意見はありませんか。</p> <p>意見が無いようなので、教育長として可否を述べます。教育長として、傍聴を許可したいと思います。</p> <p>事務局から傍聴人に入場するように伝えてください。</p> <p>《傍聴人が入場し着席》</p> <p>それでは、臨時教育委員会を次第に則って進めさせていただきます。</p>
[教育長]	<p>1. 議 題 (協議事項)</p> <p>(1) 平成30年度以降使用小学校「特別の教科 道徳」教科用図書に係る採択について</p> <p>平成30年度以降使用小学校「特別の教科 道徳」教科用図書に係る採択について 委員の先生方には、6月下旬頃から教科用図書について、検討していただいたと思いますので、ご意見等を積極的に言っていただけたらと思います。先日、7月24日に山城教科用図書採択地区協議会で協議をしていただきました。その事も事務局の方から報告をいただきながら、積極的なご意見をいただき、選定いただければと思います。私たち、今回のこの教育委員会で選定する事になっていきますので、是非忌憚のない意見をお聞かせください。</p> <p>まず、地区協議会の説明からお願いします。</p>
[川中次長]	<p>山城教科用図書採択地区協議会での採択について説明をします。</p> <p>第2回山城教科用図書採択地区協議会は、7月24日に、出席委員20名が全員出席して成立しております。</p> <p>会長のあいさつの中で、今回の選定についての基本的な観点が3点提示されました。1点目が、山城管内に若手教職員が増える中、若手の教員でも使いやすいか。2点目が、多様な価値観や意見がある中で、公教育としての公平性があるか。3点目が、児童生徒にとって使いやすく、主体的、対話的な学習ができるかです。以上の3点を観点として、特別な教科道徳の教科用図書の選定の協議が行われました。</p> <p>まず、初めに代表調査員より調査報告がありました。この調査報告は、「平成30年度使用義務教育諸学校（小学校道徳）及び特別支援学級、特別支援学校（小・中学部）の教科用図書の採択基準及び基本的観点について」及び「平成30年度使用小学校教科用図書選定資料」を踏まえて、調査研究が行われたものであります。</p> <p>調査報告の後、質疑応答を行い、採択委員での協議が行われ、最後に採択が行われ全員一致で日本文教出版が採択されております。</p> <p>以上 山城教科用図書採択地区協議会の報告を終わります。</p>
[教育長]	<p>7月24日の山城教科用図書採択地区協議会について説明がありましたけれども、只今の説明につきまして質問はございませんか。</p>
[佐野委員]	<p>調査報告の中で、今回の道徳の教科書の特徴のようなものはありましたか？</p>
[川中次長]	<p>8社の共通の特徴として、採択基準3「使用上の便宜が工夫されていること」については、読みやすさや、学習に取り組みやすいものとなっており、特に、2(4)「情報モラルと現代的な課題の取扱い」についても、情報モラル、防災、いじめ等現代的な課題を取り上げており、スポーツ関連や、自分の課題となるような工夫も見られているとのことでした。</p> <p>また、8社中3社が、別冊ノートを作っており、調査員では、使いやすさがあり、評価の一助となるとの意見が出ていたとのこと。レイアウト、挿絵の判断は主観的な意見となりますが、写真や地図の配置で効果的な教科書があり、中心発問の設定は、若い先生方の考え、深める道徳授業のためには必要であると考えたと報告がありました。</p>



[布目委員]	調査報告の中で、各社の特徴はどのように報告されていましたか。
[川中次長]	<p>全8社の各教科書の特徴ですが、東京書籍は、教材以外の情報を少なくし、様々な方向から教材文に集中できるよう工夫していること。</p> <p>学校図書は、「読み物」「活動」の二分冊構成。「読み物」の主題でねらいを確かめ、「活動」の発問で考えを深められるような構成であります。</p> <p>教育出版は、内容項目を軸として教材を配列。授業の流れを想定した「学びの手引」を教材ごとに設定（発問も3～5問提示）問題解決的学習を想定していることがあげられます。</p> <p>光村図書出版は、内容項目を軸として教材を配列。「学習のまとめ」の区切目に「学びの記録」を設定し、丁寧に自己評価できるように工夫し、また、生命をテーマにしていることがあげられます。</p> <p>日本文教出版は、導入の発問、あらすじ、登場人物のまとめ等各教材の前に整理して配列し1時間の授業展開が見通せる構成であります。別冊ノートが多面的多角的で考える道徳となっていること。</p> <p>光文書院は、学んだことを地域社会へと繋がりを広げていくため「ひろげる」を提示。道徳的实践への方向付けを明示しようとしていること。</p> <p>学研は、教材の後に「広げよう」「つなげよう」「深めよう」等思考の働かせ方を示し、学習内容を生かす工夫があり、主体的に課題を発見し、解決するために主題名を教材に付記していないことがあげられます。</p> <p>廣済堂あかつきは、別冊のノートと2部構成。ノートは内容項目を軸に構成しており、上下二段の書き込みを比較することで、自己の考えも深まりを確認できるようにしていること等報告されました。</p>
[橋本委員]	採択委員の質問で、教科書や道徳指導の全体的なことに関わっての質問があれば、どんな質問で、どのように答えられていましたか。
[川中次長]	<p>道徳の指導方法には、読み物、問題解決的、体験的等があるが、各社で特徴的なものはあったか、との質問には、実践につなげていたのは光文書院であるが、一時間ではおさまらず、時間が足りないと思われる。他社もそれぞれ工夫されていたとのことでした。また、発問がよい教科書は、との質問には、発問が深いと思われるのは、日本文教出版が深い発問が用意されているとのことでした。</p> <p>いじめ問題に正面から取り組んでいるものは、歴史上の人物についてはどうか、との質問には、今日的課題としていじめは、どの社も重点的におさえている。歴史上の人物も各社とも取り上げており特にというものはないとのことでした。</p>
[佐野委員]	採択委員の質問で、教える教員にとっての視点で質問されたものがあれば、どのようなもので、どのように答えられていましたか。
[川中次長]	<p>教える教員にとっての視点について、学研の主題名をあえて付記していないのは若い先生にとってはどうかとの質問には、書き込みが少ないのは東京書籍と学研です。若い先生にとっては難しいのではとのことでした。</p> <p>指導する上で使いやすい教科書は、若手が使いやすいのは、との質問には、日本文教出版は教材の初めに導入の発問をキャラクターが示している。あらすじもあり、読み取りがスムーズであり後で考える時間の確保ができるとのことでした。</p> <p>その他、子どもにとってシンプルなものが良いか、情報量が多い方が良いのか、との質問には、情報が多くない方が使いやすいとのベテランの意見でした。詳細であるとしばられてしまうとのことでした。</p>
[布目委員]	別冊のノートが気になりますが、採択委員会で、別冊ノートについてどのような意見が出ていましたか。
[川中次長]	別冊ノートは、子どもの成長の跡を確かめたり、評価に資することができる。教師がどのように道徳ノートを活用するか。評価だけではもったいない。いかに活用するかが大切であ



るとの意見や別冊ノートが用意されていることで、若い先生は使いやすいのではないかと。子ども達の学びの足跡が残るのでよい。といった意見がありました。

[橋本委員]

採択委員会での協議は、他にどのような意見が出ていましたか。

[川中次長]

協議の中での様々な意見ですが、評価をどのようにしていくのが大きな課題である。文章で書いていくことになるが、子どもの変化が残っていくと考えれば、別冊ノートのある方がやりやすいのではないかとという意見。1時間の授業の流れが見通せる点からも、日本文教出版が望ましいのではないかと意見や、道徳の場合は答えがあるわけではないので、みんな考え、家庭での話し合いや友達との比較ができるので、日本文教出版がよい。東京書籍は教科以外の情報が少なくてよいと思ったが、若手についてはやりにくいのではないかとと思うとの意見。物語は読んで判断して考えさせる。第1段階での読むところが、できるだけスムーズにいくものがよい。教材の長さでみると東京書籍は長いのが多く日本文教出版は量として適当で、1教材4ページでおさえられており。字の大きさも良く、中身に入っていくやすい。教員が工夫して、授業を組み立てていきやすいといった意見が出されておりました。

[橋本委員]

別冊ノートに合わせての周辺教材、特にデジタル教材については、採択委員の中で協議されていたのであれば意見・内容等を教えていただきたいと思います。

[川中次長]

デジタル教材については、採択委員の中では、意見・質問等は、有りませんでした。

[教育長]

それでは、平成30年度以降使用小学校「特別の教科 道徳」教科用図書採択の協議を行いたいと思います。

[松下委員]

今までの意見とかなり重なる部分はありますが、私の意見としては、全8社からの教科書の選択に少し戸惑いました。それぞれ特徴がありますが、総合的に道徳の授業で、如何に教員が使い易く教え易く、子ども達が授業で道徳的な価値をスムーズにできるかの視点で教科書を比較したところ日本文教出版の教科書は、文字が他社より大きく読み取りがスムーズに出来き、1教材4ページでおさえられています。もう一点日本文教出版の良いところは、中心発問、価値を高めるための質問しやすく明快であると思います。教員が教育資料として使用できるよく出来た別冊ノート等を考慮し、私は日本文教出版だと思います。

[教育長]

道徳の授業としての深まりを得るのに、資料の多すぎるのは問題ですが、ある程度の量が必要です。その他、中心発問の点、別冊ノート点等総合的に考えて日本文教出版が良いのではないかとご意見でしたが、他にご意見はありますか。

[橋本委員]

この教科書を手にして読んでみたところ、先程から色々説明が有りましたが、教科書会社それぞれの特徴があり、細かい創意工夫がされています。道徳と言う教科は、このような教材をこのように扱う教科だという認識と共に選ぶとすれば、どれを選ぶのかを決断するのが難しいのが、率直な意見です。先程の質問のやり取りを聞いていますと全ての質問・やり取りに表裏があると思います。別冊ノートを使うという事は、多様な教育的な指導チャンスがあり一方では、使わなければならないとすれば評価についてどの様に組み入れるか等、負担が大きく大変な作業です。45分間の授業展開が収まるのかどうか等もあります。しかし、扱い方の問題だとすればプラスに働く等々思いを巡らしていました。先程の質疑応答の中で、若い先生方が使い易いとは、どのような意味なのかと考えたところ別冊ノート等有り、適切な情報量が有る等、使い易いように準備されて、新たに作り出したり、思考する負担を軽減する。同じような歩調で皆が出来る等な点で使い易いというのか、若い先生だけにパターン化されたもの盛るのであれば道徳の指導には生きてこないと思います。このような難しさを強く感じています。したがって、道徳は対話的で深い学びに繋がるようなアクティブラーニングを含めて、その方向へ向かう授業展開を考えていただくにあたり、まさに授業の指導方法にかかわっています。その素材である教科書について、日本文教出版は1教材4ページでおさえられてシンプルであり、あらずじ等の内容も良いとの説明が有りましたので、使い易さも考慮して日本文教出版で、了承いたしました。

[教育長]

有難うございました。他にご意見はございますか。

[布目委員]

道徳という一つの教科書を8社から選ぶのは、初めてであり大変でした。先生方が教え易



い教材であり児童にとっては文字の大きさや物語の長さ、読みやすさ見やすさも重要だと思います。日本文教出版の6年生の教科書は、深いテーマが有り、先生方が授業の方向で、それぞれ自由な展開ができると思います。その辺りを扱っているのが日本文教出版ではないかと思ひます。

別冊ノートが気になっており3社の内、友達の意見が有ったのが日本文教出版で、自分の意見と友達の意見が比較でき記録できる。また保護者の記入欄もあったので、家庭との連携もでき別冊ノートの活用がしやすいのが日本文教出版だと思ひます。

[教育長]

有難うございました。他にご意見はございますか。

[布目委員]

松下委員からの報告を受けて8社の中から選択するにあたり、現在の子も達は、書くことが苦手なので、自分の心の声を書け、友達の声を書ける。国語のように自分で考えて書く誘導に成っていない別冊ノートに魅力を感じました。命の尊さなどについて日本文教出版は特に重要視しており現在の子も達にとって重要だと思ひます。自分が持っている道徳観が日本文教出版が一番近く感じました。教員が1時間に納められ完結できるのは日本文教出版だと納得できこの教科書で良いと思ひました。

[教育長]

有難うございました。日本文教出版が良いという意見が多かったと思ひます。

全国的に若い先生方が増えている現状の中で、指導できる教科書という見方では、日本文教出版が良いのではないかというご意見だったと思ひます。別冊ノートについては、活用しただと思ひます。橋本委員の意見に有りましたが、別冊ノートありきでは45分で完結するかという問題も有りますし、八幡市の教育委員会としても教科書の選定と共に、教員の道徳の指導力辺りも研修も含め高めていく事もあると感じました。

[松下委員]

道徳教科の評価について、子ども達の道徳的価値をどこまで高められたかが評価につながるわけです。道徳評価は、数値では無く文章評価します。子ども達が感じる事や考えてることは外から見えないので、別冊ノートに書いて残すことが評価の道順になると思ひます。授業の展開によっては物語を読ませて感じたことについて中心発問を受け、子ども達が感じたことを書き教師が読んで評価をする。色々な活動に発展させ評価していくと思ひます。

[教育長]

有難うございました。評価の観点から別冊ノートが資料になるというご意見でした。

他にございませんか。

[橋本委員]

扱い方が問題になる点から別冊ノートを書くことに重点を置くと教員への負担、道徳の狙いに限界があるのでは無いかと思ひます。学校生活の中で道徳の時間で何が得られるのかを考えると道徳観を良い方向に向けるために人の意見や色々な見方が必要です。話し合い等の時間をいかに残すかも課題だと思ひます。人間関係が上手くいくように、物の見方、感じ方を対話的に深い学びや主体的な行動に繋いでいけるように他の教育領域に関係させながら連動させるようにお願いしたいと思ひます。

[佐野委員]

道徳とは家庭との連携が必要なので、家庭教育、教員の指導力が重要になってくるので親と教師の信頼関係を築きながら道徳教育を進めてほしいと思ひます。

[教育長]

平成30年度以降使用小学校「特別の教科 道徳」教科用図書については、日本文教出版「小学道徳 生きる力」を八幡市教育委員会として採択することに賛成の委員は、挙手をお願いします。

《委員全員挙手》

全員一致で日本文教出版「日本文教出版 小学道徳 生きる力」を採択します。

その他 何かありますか。

無いようですので、これで議題を終了させていただきたいと思ひます。

本日の議題の採択については、終わりましたが、山城教科用図書採択地区協議会の議事録と報告書につきましては、規約上公開することになっておりますので、閲覧希望者に対して、学校教育課の窓口で公開したいと考えております。



それでは、以上をもちまして、臨時教育委員会を閉会させていただきます。
お疲れ様でした。